

生花小売店の生き残り作戦

ACTIVE KUMIAI

山梨県生花商業協同組合



熱心に聴講する参加者

山梨県生花商業協同組合(岡村満理事長)は、8月23日に甲府市「山梨県国際交流センター大研修室」において研修会を開催し、組合員や業界関係者約40名が参加した。

長引く経済環境の低迷に加え、流通経路の変革や顧客ニーズの多様化など生花業界を取り

巻く環境は益々厳しい状況にある。

これまでの法人需要から個人需要へと大きく変化するなかで、手頃な値段の花束はスーパーや量販店の販売競争に巻き込まれ小売店が生き残る道は険しくなるばかりである。

そこで、花卉流通の第一人者である岐阜大学応用生物科学部の福井博一教授を講師に、「花屋の現状とこれからの花屋・園芸店に大切なこと」をテーマに、国内市場の現状や消費動向、崩壊したアメリカの切り花産業と国内の現状とを比較しながら講演が行われた。

また、業態化・専門化のポイントやライフスタイルの変化への対応等についても、多くの事例紹介が行われた。結びに「花業界に携わっている人が、一つずつ行動を起こすことが大きな動きになる。」とエールを送った。

参加者からは、「現状を把握し、将来へ向けて常に考えながら進んでゆく事の大切さを実感した。」との発言もあり、充実した研修となった。



岐阜大学応用生物科学部 福井博一教授

TOPICS